

授業コード	2121331nh4	科目ナンバリング	BRL1C08L5
授業名	欧米文化研究		
英文名	Cultural Studies(Europe and America)		
単位数	2.0単位		
開講年度・学期	2026年度後期	曜日・時限	金曜3限
実施教室			
授業形態	講義		
メディア科目			
オープン科目			
学位授与方針（DP）	理工学部理工学科DP5		
担当教員(先頭者が主担当)	西願 広望		

目的概要	本講義では、ヨーロッパとアメリカの文化を見ていき、欧米文化の歴史的な変化を見ていきます。そして、欧米の文化的な影響を受けた日本が、どのように変化・対応していったかをも触れていく予定です。なお、映画やドキュメンタリーを見ることで、文化の類似と相違を感じてもらいたいと考えています。
達成目標	(1) 学生が「教養」について考えることができる。 (2) 学生が自分たちの文化と多文化との関係を理解できる。 (3) 学生が欧米文化と現在の日本を結びつけて考えることができる。
関連科目	「戦争と平和の歴史／歴史学A」「歴史学／歴史学B」「インテレクチュアルヒストリー特論」「教養ゼミナールB／人文社会学ゼミB（中島）」「多文化コミュニケーションA」「多文化コミュニケーションB」
履修条件	とくになし
教科書名	とくになし 必要な資料は授業の際にコピーを配布します。
参考書名	スタンダール『赤と黒』。 スタンダール『バルムの僧院』。 バルザック『田舎医者』。 ユゴー『レ・ミゼラブル』。 トルストイ『戦争と平和』。 佐々木真・原田敬一・松本彰編著『戦争を展示する』（大月書店）。 アゴタ・クリストフ著『悪童日記』（早川書房）。 カロリース・フレスト著『傷つきました戦争』（中央公論新社）。 西村カリン著『日本「完璧」な国の裏側』（河出書房新社）。
評価方法	試験：40% レポート（1000字から2000字）：40% 講義感想文：20%
課題に対するフィードバック方法	講義感想文に関しては、授業中に取り上げる。 レポートと試験に関しては、最後の授業で対応する。 個人的にフィードバックを求める学生がいる場合は、メールを通じて対応する。
自由記載欄	履修者数によって、講義の進め方は多少変更するかもしれません。
アクティブラーニングの実施	講義では相互コミュニケーションを重視します。教員、学生間でできるだけ意思の疎通をはかるようにし、基本的な知識の確認、疑問点などを通して、理解の促進と深化を図ります。
ICTの活用	とくになし
実践的教育科目	とくになし
オンデマンド講義情報	【学習時期】 14回目の講義終了後、10日以内。詳細は講義中に指摘します。 【学習内容】 講義のまとめ（90分） 【教材の視聴方法】 Webclassから閲覧できるように設定します。14回目の講義終了後に、教材を視聴してください。 【事前・事後学習】 オンデマンド教材で提示した課題をおこなう。

テーマ・学習内容	
第1回	授業概要について／ヨーロッパとアメリカの文化 レポートと試験の説明 【事前・事後学習】 シラバスを確認してください。参考書の所在を確認して、手に取ってみる。（計190分）
第2回	記憶の歴史ーナポレオン伝説概説 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関係する本を読んでおく。（計190分）

第3回	復古王政期におけるナポレオンの暗黒伝説 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分)
第4回	ロマン主義の英雄の誕生 映画『赤と黒』抜粋紹介 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分)
第5回	科学的歴史学の誕生と、第二帝政の崩壊（パリ・コミュン）と、それでも繰り返される伝説 【事前学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習してください。講義内容に関する本を読んでおく。 【事後学習】講義感想文を書く（6回目の授業で提出）。(計190分)
第6回	ナポレオンに関するモニュメントと芸術の歴史 映画『ナポレオン』抜粋紹介 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分)
第7回	戦争博物館に関する考察（19世紀から20世紀） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分)
第8回	戦争博物館に関する考察（21世紀） 【事前学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習してください。講義内容に関する本を読んでおく。 【事後学習】講義感想文を書く（9回目の授業で提出）。(計190分)
第9回	アメリカ文化論（独立戦争と南北戦争と先住民虐殺） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分)
第10回	アメリカ文化論（トランプ大統領の誕生を導いたもの：多様性と平等） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分)
第11回	現代日本の戦争文化について、ヨーロッパとアメリカを参照軸に、考える フリーディスカッション形式 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について課題図書等を用いて予習・復習してください。講義内容に関する本を読んでおく。(計190分)
第12回	レポートを書いて提出 【事前学習】レポートの下書き 【事後学習】レポートが書けたか、確認する（計190分）
第13回	試験 【事前学習】講義ノートを確認し、試験に備える。講義内容に関する本を読んでおく。 【事後学習】試験ができたかどうかを自分で確認する。(計190分)
第14回	総括：レポートと試験への評価 質問への対応 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。(計190分)
質問への対応（オフィスアワー等）	授業中に、どうぞ。
E-Mail address	22046@ms.dendai.ac.jp
備考	講義が中心です。わかりやすく話しますが、わからないことがあれば講義中にかまわず質問してください。歓迎します。なお、補助として映像を活用します。
J A B E E	とくになし。

学期末試験<事務部記入>	
試験方法	
試験実施日時	
参照可否	
着席方法	
レポート提出先	
レポート提出期限日時	
備考	